CGP The Japan Foundation Center for Global Partnership　AJC Global Jewish Advocacy

日米知識人交流事業
オンラインセミナー

メンタルヘルス・マターズ：新型コロナウイルス感染症とその先のこと

2020年は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による生活の変化、面会や娯楽が制限されたことにより、私たちの心にストレスを与えていることが分かってきました。
国際交流基金日米センターは、米国ユダヤ人協会と協力し、コロナ禍とその後に予見される精神的なストレスを取り上げ、日米の文化的な相違、ストレスへの対処法や予防法など、様々な視点からメンタルヘルスに関する議論を展開するオンラインセミナーを実施します。特に、女性が直面している精神的ストレスについても興味深いお話が聞ける内容となっています。
あなたご自身の、そしてご家族、会社の従業員など、大切な人の心の健康について、皆さんで考える機会になれば幸いです。

スピーカー

キャスリーン・M・パイク博士 (Dr. Kathleen M. Pike)
コロンビア大学アーヴィング・
メディカルセンター（CUIMC）心理学教授

パイク氏は、グローバル・メンタルヘルス・プログラム教職員運営委員会の委員長、コロンビア大学のグローバル・メンタルヘルスの分野における能力形成・訓練のための世界保健機関（WHO）協力センター所長、保健・老齢化政策フェローズ・プログラム次長を務めている。CUIMC の摂食障害センターでは、心理学者として上級指導官の職に就いている。
パイク氏はそのキャリアを通じて、精神衛生、教育、女性の健康に重点を置く国際的イニシアチブに関与してきた。日本では、テンプル大学ジャパン・キャンパスの心理学教授および研究担当副学部長として、また、慶應大学の客員教授として、学術および大学経営の両方に携わった。摂食障害の分野では、教師のためのフルブライト賞を受賞し、リスク要因や治療の開発および実施に関する先駆的な研究を行っている。

モデレーター

佐々江信子氏
信子フォーラムジャパン代表
会議通訳／東洋大学理事

青山学院大学英米文学部卒業、ペンシルバニア大学大学院教育学修士。東アジア首脳会議、TPP 閣僚会議、日米財界人会議、アジアの未来、富士山会合、G20 閣僚会合など数多くの同時通訳を経験。2012年末から2018年まで大使夫人としてワシントン在住中に女性リーダー達と対話する「The Nobuko Forum」を創設。
ACCJ（在日米国商工会議所）2018 年「Person of the Year」賞、ワシントン日米協会 2018 年「マーシャル・グリーン賞」を受賞。

配信日時　2020年12月11日(金) 19：00～ 約 1 時間

申込方法　参加希望の方はQRコードまたは、下記URLよりご登録ください。
https://www.jpf.go.jp/cgp/exchange/intellectual/online/online_201211.html

お問い合わせ先　国際交流基金日米センター
TEL 03-5369-6072　Email cgpc@jpf.go.jp

主催
国際交流基金日米センター

共催団体
米国ユダヤ人協会